

# にぎわい Cafe Session を終えて

とき：2006年4月22日

場所：日進市にぎわい交流館 1 階

4月22日、日進市市役所の横にあるにぎわい交流館1階にて、「にぎわい Café Session」を行いました。

「にぎわい Café Session」はインターン経験のある大学生と、これからインターンを行なおうと考えている学生、また日進で社会活動を行なっている学生の交流会です。その他にも、NPOの方など幅広く参加していただいて、学生に社会と関わるということを楽しく考えてもらうことを目的としています。

日進市の大学生、NPOやインターンに興味のある学生、日進と関連のあるNPO、学校関係者を合わせ、約35人が参加するイベントとなりました。学校関係者として、中京大学の斉藤先生や、愛知学院大学キャリアセンターの職員の方、淑徳大学の職員の方に参加していただきました。



まず、参加してくれた名東区育成会、LEARNING、SOLV、国際ボランティアサークルに団体紹介をしていただきました。活動の目的や、活動している大学、活動の内容について話してもらいました。

続いて、「インターン体験談トーク LIVE」。コメンテーターには中京大学の斉藤先生と、日進市職員の伊藤さんをお願いしました。インターンを受け入れた側、インターンをした側から相互のお話をしていただき、それについて斉藤先生や伊藤さんからコメントをいただく形式で進行しました。



スマイルハウスにインターンされた中京大学の内田さん、行政(日進市)とNPO(国際交流協会)でのインターン経験をした名古屋商科大学卒業の山川大輔さん、民主党でインターンされた名古屋大学の今枝宗一郎さんに、インターンをして何がかわったか、何を感じ取れたか、そこから自分はどう動こうと思ったか、インターンを通しての経験の話をうかがいました。

そして次に、NPO のサンコムネット、Rin の方に話をさせていただきました。また、Rin の時は、あじさい会と関わりのある学生とともに話をしてくれました。



トーク LIVE の最後に、伊藤さん、斉藤先生から会を通しての感想、これからどうあるべきなのかなど、コメントをいただきました。ありがとうございました。

日進市は自主的な自治活動の広がり注目が集まっています。しかし、そのような活動の中でも、若者の存在感はいまだに小さいです。日進市は多くの大学があります。学生が少ないわけではないのです。NPO 側には「大学生の力が欲しい。けれど、大学生とのつながりがない。」、学生側には「何かしたいけれど、どうすればいいかわからない。」という意見があります。そういったお互いに需要があるのにお互いをつなぐ「つながり」がない。今回の交流会はそうした思いを解消するきっかけ作りになったのではないのでしょうか。これからも縦の「つながり」を作り、学生がもっと自分の住んでいる地域と自分がつながっているという意識を持ってもらえたらと思います。

6 月頃に第 2 回「にぎわい Café Session」ができたかと考えています。決まり次第 HP の方で情報を載せたいと思います。

#### 【おまけ】



国際ボランティアサークルの方々に軽食の料理を協力していただきました。チャーハン、うどん、カップケーキ、どれもおいしくいただきました。そして、最後に一緒に記念撮影をしました。



参加していただいた皆さん、ありがとうございました。  
そして、スタッフの皆さん、お疲れ様でした。